

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	4	課題区分	C	令和4年3月31日	
横断的な課題	信州まつもと空港の利用促進と空港を活用した観光地域づくり					松本地域振興局	
地域重点政策	信州まつもと空港を活かした観光振興						
実施機関	松本空港管理事務所			担当課	所属	松本空港管理事務所	
事業名	信州まつもと空港賑わい創出事業				電話	0263-58-2517	
					E-mail	matsukuuko@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	「信州まつもと空港の発展・国際化に向けた取組方針」に定める「観光・賑わいの拠点としての活用」を推進することにより、空港及び周辺地域の魅力向上を図る。					
	現状と課題	一昨年度末からの新型コロナウイルス感染症の影響で空港利用者数が大幅に減少しているが、オリンピック・パラリンピックの開催が予定されており、国際線ターミナルビル臨時施設の設置も計画されている状況である。空港利用者数の回復のための賑わい創出や外国からの来訪者を迎え入れる施設整備等が必要である。					
	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロカーボン推進の取組みも踏まえ、令和元年度に地域振興推進費で作成したアルクマ空港バージョンをデザインしたエコバックを作製し、また、社会見学等で訪れる多くの県内外小学生等が空港に興味を持ってもらえるように滑走路鉛筆を作成し、空港の賑わい創出のための空港見学会、空港利用者のおもてなし等の中で配布することにより、松本空港の魅力向上・PRを行い、松本地域の観光地域づくりに寄与する。 ・オリンピック・パラリンピックや空港の国際化を見据え、外国人利用者増に対応するため、空港内の案内看板表示を多言語表示にし、誰もが利用しやすい空港として魅力向上、空港利用の促進を図り、松本地域の観光の玄関口としての整備を行う。 ・地元向けに空港に対する理解を深めてもらうため、空港施設(滑走路、エプロン、各種航空灯火等)を説明案内するバスツアーを、新型コロナウイルス感染症対策(検温、消毒等)を十分取った上で実施(実施時期については、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を勘案した上で判断する。)する。 					
	事業期間	令和3年4月		～	令和4年3月		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	国外来訪者関係事業	案内看板更新	286,825				
	空港見学会等関係事業	エコバック、滑走路鉛筆の作製	775,500	エコバック: 124.3円×3,000枚 滑走路鉛筆: 134.2円×3,000本			
	合計		1,062,325				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	定期便等利用者数(R3年度)		130,000人	117,566人 (R4.2末現在)	○ 達成		
	空港イベント参加率(参加者数/参加上限数×100)		90	100	● 一部達成		
					○ 未達成		
事業実績・成果	案内看板、エコバック及び滑走路鉛筆の作製は計画通り実施できたが、新型コロナウイルス感染症の影響で空港施設案内バスツアーは実施できなかった。また、空港見学会やスカイフェスティバルといったイベントも新型コロナウイルス感染症の影響で縮小、実施見送りせざるを得なかった。作製したノベルティについては、空港見学会や沖縄チャーター便等で搭乗者向けに配布するなどして松本空港のPRのため活用した。空港見学会(4、5、6、7月開催)、学校等見学会(6月5団体、7月4団体、8月3団体、9月9団体)						
今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、できるだけ空港利用推進につながるようなイベント、PRを実施していく。開催方法等はポストコロナを踏まえたものを検討実施していく。						